LIXIL

私が創る自然浴
― ロートアルミ門扉 ―
取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

- 門扉は人や車が出入りするためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。
- 門扉の種類によっては、デザイン上格子間のすき間が大きく頭や足が入りやすいものがあります。
段差のある場所や高所への施工は控えてください。

注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工手順は、次頁の「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

注意

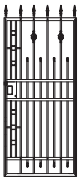
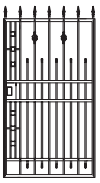
- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

取付説明書区分表

施工手順	使用する取付説明書	取説コード
柱の建て込み、桁、幕板	・私が創る自然浴　ースカイエールー	E158
調整金具の取付け	・私が創る自然浴　ーロートアルミ門扉ー	E195
板間の処理、塗り仕上げ	・私が創る自然浴　ースカイエール塗り仕上げー	E180
ヒンジの取付け、調整金具の調整	・私が創る自然浴　ーロートアルミ門扉ー	E195
錠・レバーの取付け	・キャスティナB・C錠	A316

■梱包明細表

1 門扉本体セット

名　称	略　図	員　数					
		A　型			B　型		
		W04	W08	W10	W04	W08	W10
本体04-18		1	ー	ー	ー	ー	ー
本体08-18		ー	1	ー	ー	ー	ー
本体10-18		ー	ー	1	ー	ー	ー
本体04-18		ー	ー	ー	1	ー	ー
本体08-18		ー	ー	ー	ー	1	ー
本体10-18		ー	ー	ー	ー	ー	1
1-① φ5×35（D＝8） トラスタッピンネジ1種 （バネ座金十平座金付）		8	8	8	8	8	8
取扱説明書	ー	ー	1	1	ー	1	1
取付説明書	ー	ー	1	1	ー	1	1

E195_200503A

2部品セット

名　　称	略　　図	員　数
ヒンジ上		2
ヒンジ下		2
落し棒		1
落し棒受け		1
戸当り		1
ヒンジキャップ		4
2-① M5×22サラ小ネジ		3
2-② M5×22ナベ小ネジ		2
2-③ M5×12止めネジ		9
取付説明書	―	1

3調整金具セット

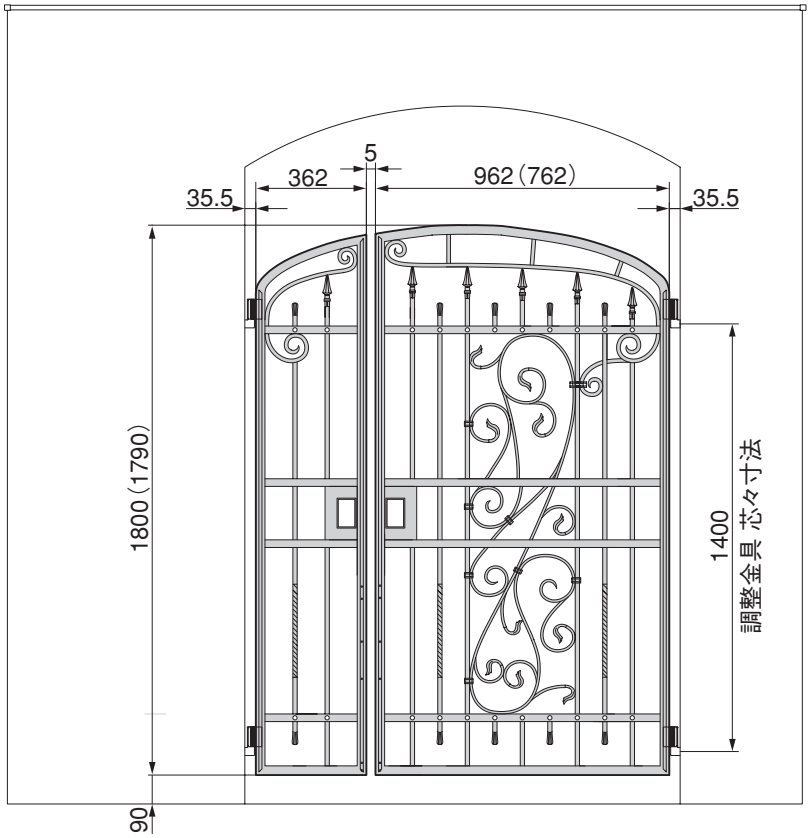
名　　称	略　　図	員　数
調整金具上		2
調整金具下		2
3-① M5×12トラスネジ ※		8
3-② ワッシャー		2

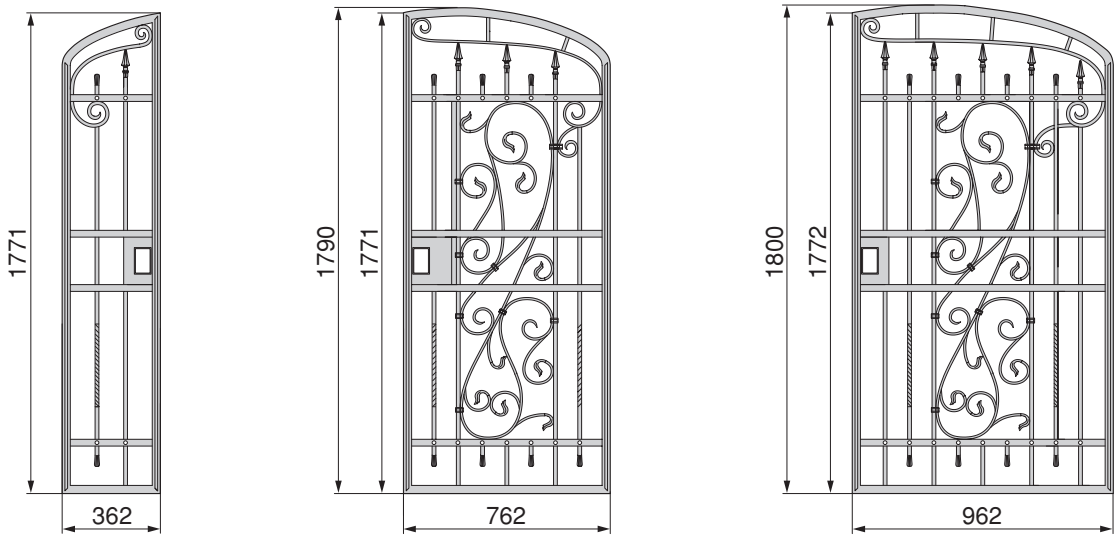
※本商品では使用しません。

E195_201210C

1. 基本寸法

1-1 ロートアルミ門扉A型　※図はW10を示しています。(　)内の寸法はW08の場合です。

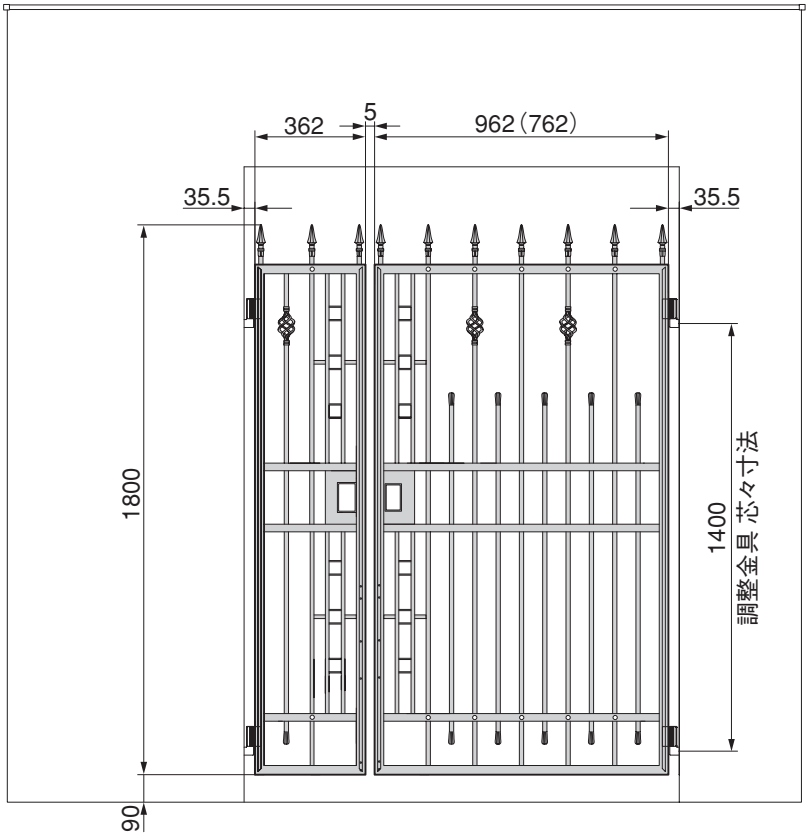


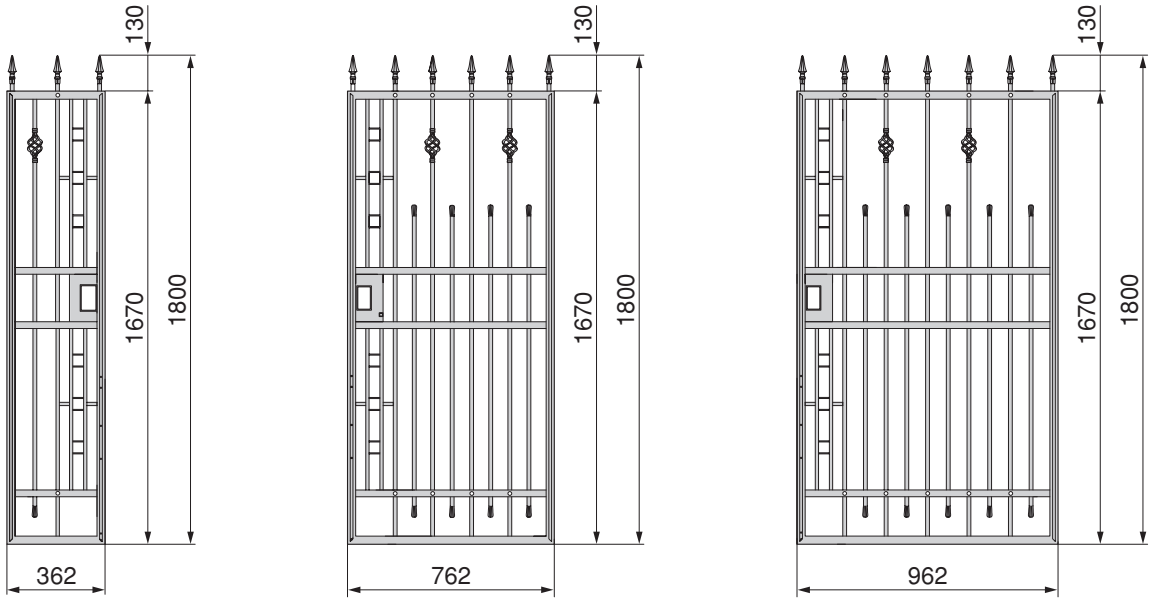


04-18　　08-18　　10-18

1. つづき

1-2 ロートアルミ門扉B型　※図はW10を示しています。(　)内の寸法はW08の場合です。





04-18　　08-18　　10-18

2. 調整金具の勝手変更

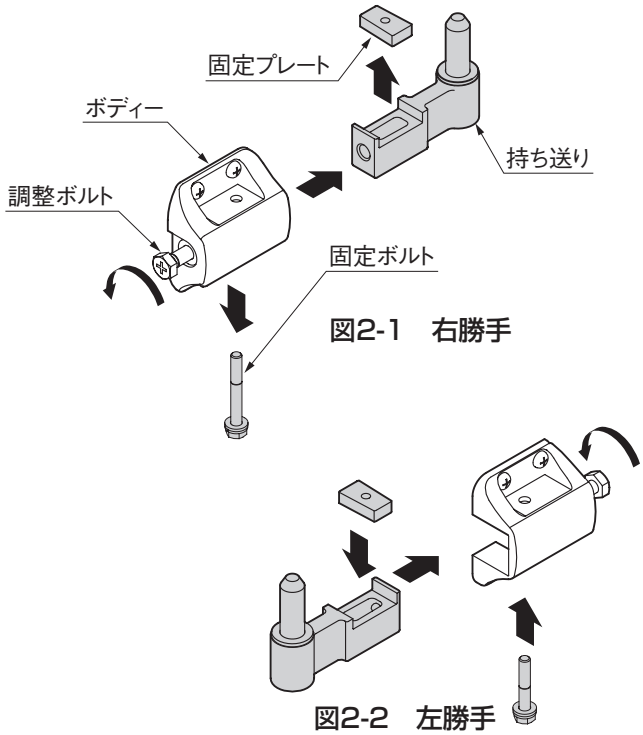


図2-1　右勝手

図2-2　左勝手

❶「固定ボルト」を外してください。
❷調整ボルトをゆるめて持ち送りと固定プレートを外してください。
❸ボディーの向きを変え、持ち送りに固定プレートを乗せてボディーに挿入してください。
❹調整ボルトを締めてください。
❺「固定ボルト」を締めて、持ち送りを固定してください。

補 足

- 表面仕上げ作業時に持ち送りが作業の妨げになる場合は、一時取外してください。

ポイント

- 調整金具は出荷時は右勝手で仮組されています。左勝手側の2個のみ勝手変更が必要になります。

3. 調整金具の取付け

※スカイエール塗り仕上げ取付説明書（E180）
「1　板間の処理、塗り仕上げ」の前に行う作業です。

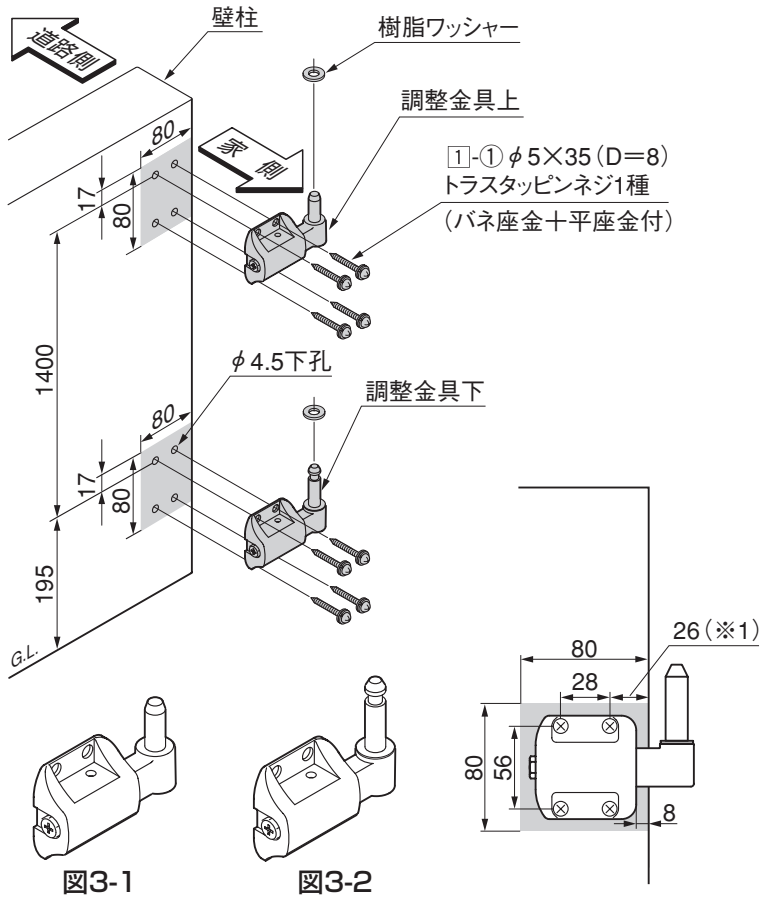


図3-1
調整金具上

図3-2
調整金具下

図3-3

❶壁柱の調整金具取付位置にφ4.5の下孔加工をしてください。

❷壁柱に調整金具上と調整金具下を1-①で取付けてください。

❸樹脂ワッシャーをシャフトに差込んでください。

ポイント

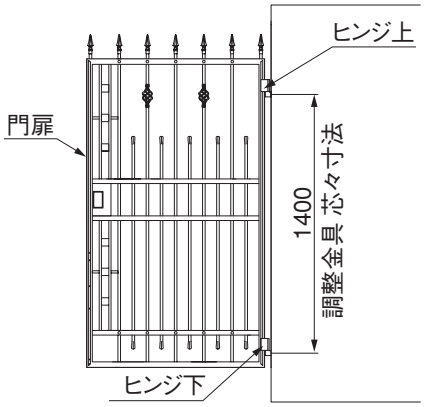
- 調整金具には上下があります。（図3-1、図3-2参照）

補 足

- 表面仕上げされた壁柱に後から調整金具を取付ける場合は、図3-3のように調整金具のまわり（80×80mm）の表面仕上げを削り取ってから作業を行なってください。
また、壁端部からのネジ位置寸法は、壁下地表面から26mmとしてください。塗り表面から26mmとすると、ネジが取付かないおそれがあります。（※1）

4. ヒンジの取付け

※スカイエール塗り仕上げ取付説明書（E180）
「1　板間の処理、塗り仕上げ」の後に行う作業です。



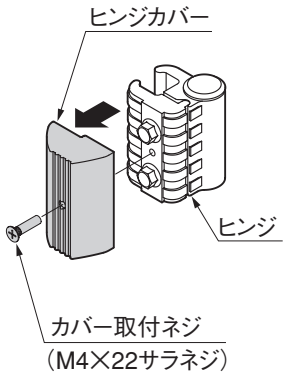


図4-1

❶「カバー取付ネジ」をゆるめて、ヒンジのカバーを取外してください。

❷ヒンジを図4-2を参照して、門扉の吊元側の溝に合わせヒンジAとヒンジBで挟み、「ヒンジボルト」で固定してください。

ポイント

●「抜け止めネジ」のネジ孔のあるヒンジが下にくるようにします。

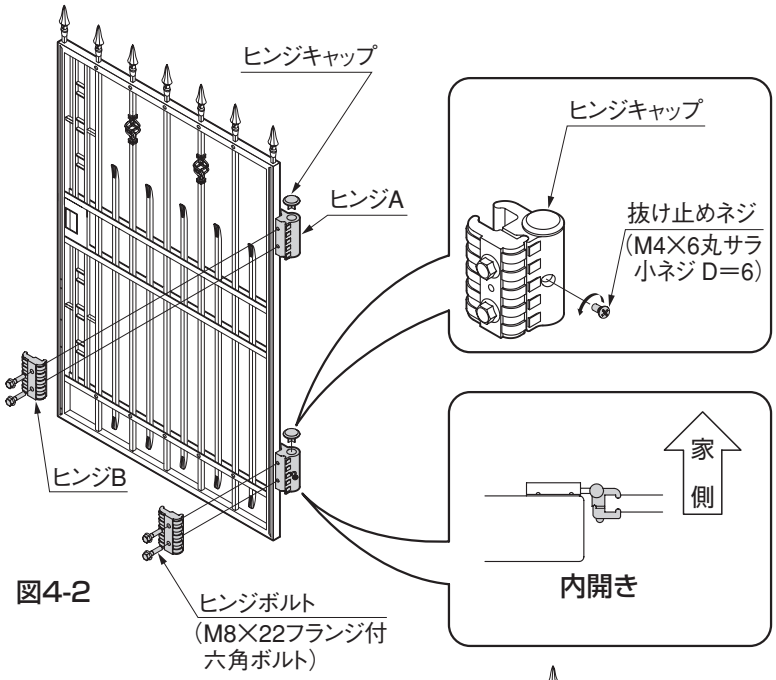


図4-2

❸ヒンジキャップをはめてください。

❹ヒンジ下の「抜け止めネジ」をゆるめてください。

❺ヒンジ下、ヒンジ上の順に調整金具のシャフトに差込んでください。
（図4-3参照）

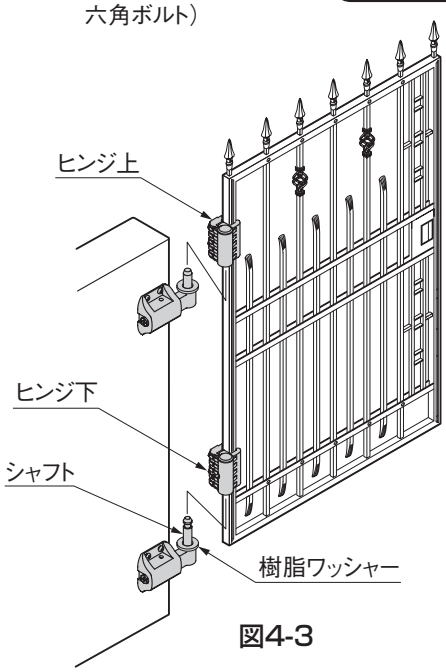
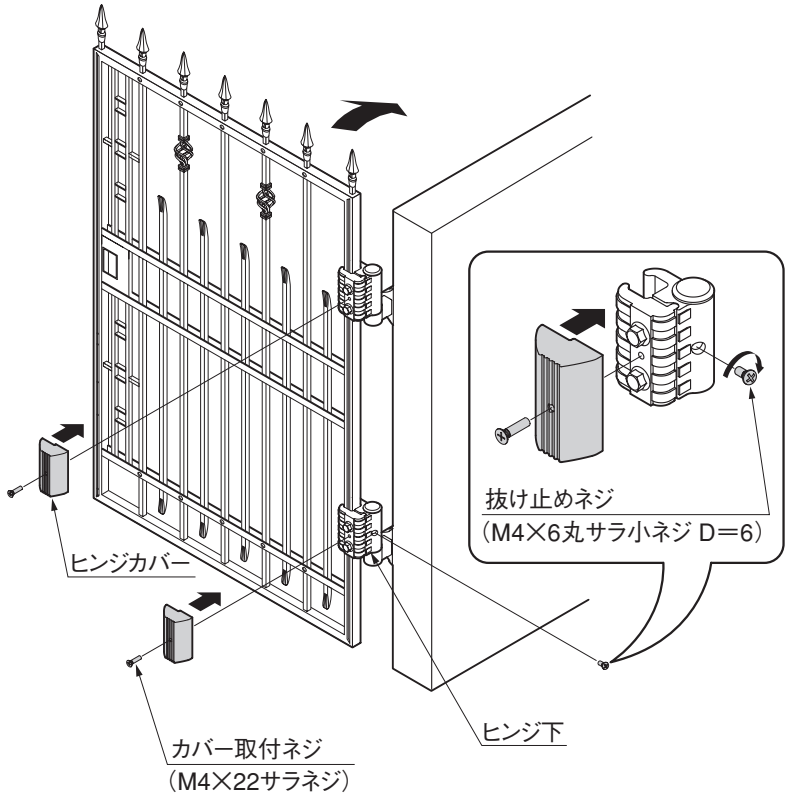


図4-3

ポイント

●ヒンジを調整金具に差込む際、調整金具の上下のシャフトの中心を、水糸などを使用して合わせてください。調整方法は、「5.調整金具の調整方法」を参照してください。シャフトの中心位置がずれていると、開閉時の音なりが発生することがあります。
●門扉開閉時にヒンジと調整金具のシャフトとの間で音なりが発生した場合、一度門扉を取外し、調整金具シャフトおよびヒンジの孔内のゴミなどを取除いた後、市販の潤滑用グリースをシャフトおよびヒンジの孔に十分塗布し、再び門扉を取付けてください。
●調整金具のシャフトに必ず樹脂ワッシャーが入っていることを確認してください。

4. つづき

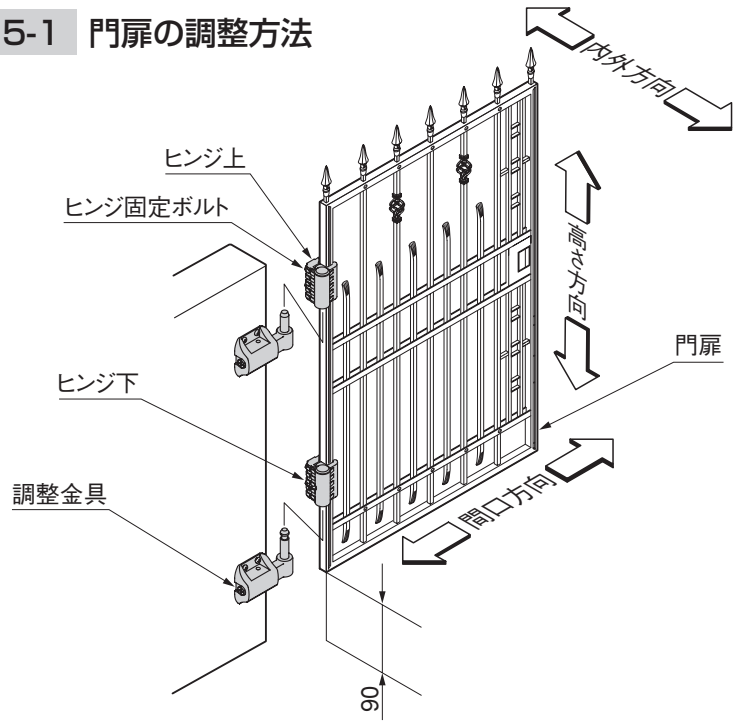


❻門扉をあけ、ヒンジ下の「抜け止めネジ」を締めてください。

❼ヒンジカバーを「カバー取付ネジ」で取付けてください。

5. 調整金具の調整方法

5-1 門扉の調整方法



❶高さ方向の調整方法は、ヒンジ固定ボルトをゆるめ、ヒンジをスライドさせて調整してください。

ポイント

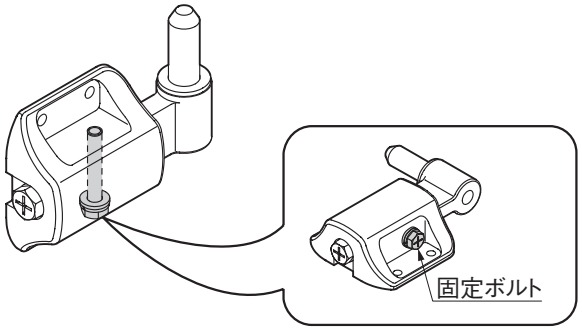
- 門扉とG.L.のすきまは90mmが標準です。

❷間口方向および内外方向の調整方法は、5-2「間口方向・内外方向の調整方法」により調整金具で調整してください。

5. つづき

※固定ボルトは必ず呼び10のスパナを使用してください。

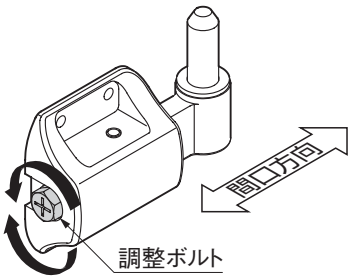
5-2 間口方向・内外方向の調整方法



❶「固定ボルト」を呼び10のスパナでゆるめてください。

ポイント

- 「固定ボルト」を締めたまま間口寸法を調整すると「固定ボルト」が破損します。



❷「調整ボルト」をまわして、図5-1のようにチリ寸法を5±1mmに調整してください。

ポイント

- 上下のチリ寸法およびねじれがないように調整してください。

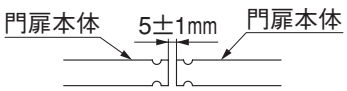
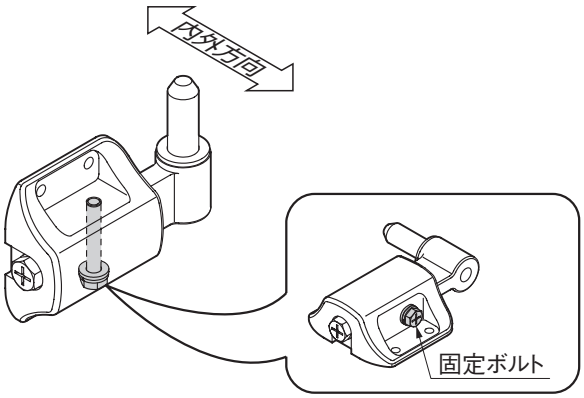


図5-1



❸内外寸法を決めたあと、「固定ボルト」の固定は呼び10のスパナで締付けてください。

補 足

- 調整範囲は表5-1を参照してください。

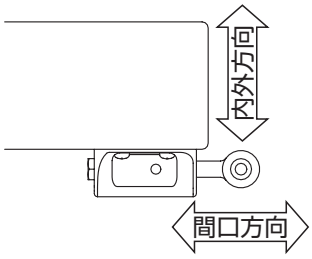
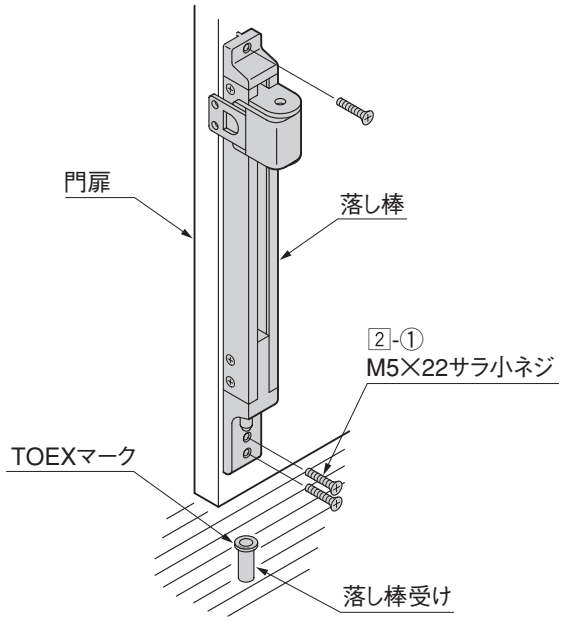


表5-1　調整範囲

内外方向	±4.5
間口方向	±8.5

6. 落し棒の取付け



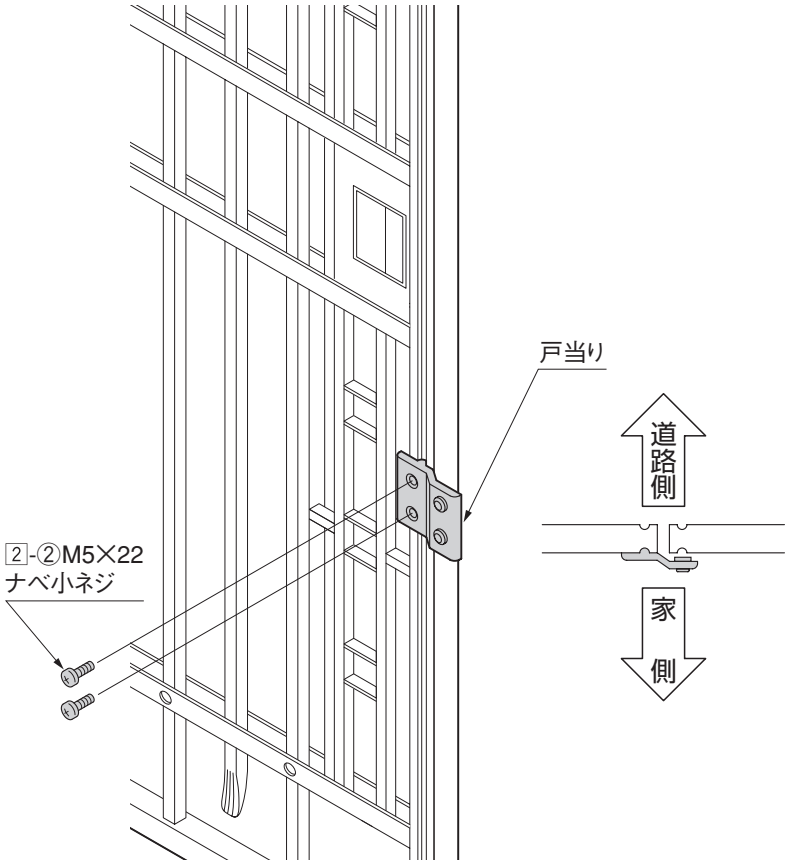
❶ 門扉落し棒を 2-① で取付けてください。

❷ 落し棒受けを埋込んでください。

ポイント

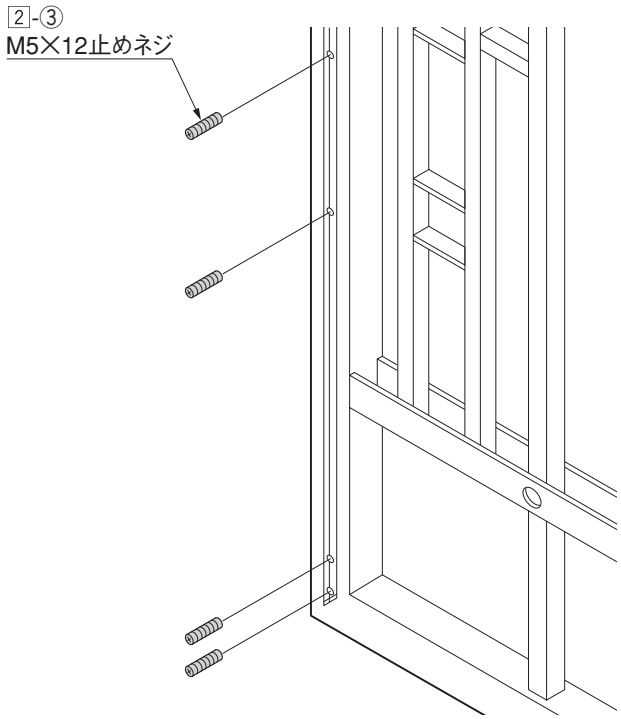
- 落し棒受けは、間口寸法の調整後埋込んでください。

7. 戸当りの取付け



❶ 戸当りを 2-② で門扉本体に取付けてください。

8. 穴隠しネジの取付け



❶使用しなかった孔に 2-③ で門扉本体に取付けてください。

メモページ

取説コード

E195

QRC604618C
200503A_1041
201607D_1049